

# 西蒲区農業委員会 だより

第46号

2018年  
9月1日発行

新潟市西蒲区農業委員会 〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲 2690 番地 1 TEL.0256-72-8631



## JA出資法人を見る



農業委員会では、毎年県外視察研修を実施していますが、今年は6月20日～21日に長野県と群馬県で、それぞれ農業関係の法人を訪問しました。

長野県では高原野菜の産地、軽井沢町で活動するJA出資法人を訪問し、法人の取り組みを伺いました。

次ページで研修の詳細を報告させていただきます。

高原野菜の産地、  
出荷を待つ高原キャベツ



# 県外視察研修報告

## (株)グリーンフィールド

(株)グリーンフィールドは、平成16年にJ A佐久浅間が出資して設立した法人で、本社は佐久市ですが、J A管内を活動範囲としており、今回は遊休農地を活用している軽井沢地区を訪問しました。

高齢化により廃業する肉牛牧場と養豚場を引き受ける形で事業を開始しましたが、現在では肉牛11牧場、肉豚4養豚場を中心に、軽井沢地区では遊休農地を解消して野菜15ヘクタール、水田4ヘクタールを経営し、販売額は10億円を超えています。

自社で耕畜連携ができることは大きなメリットで、畜産物はブランド化を目指すとともに、ほ場では野菜の生産はもちろんのこと、酒造好適米や焼酎用のサツマイモ、連作障害対策としての小麦の有効活用によるご当地ビールへの原料提供など、お

みやげとしての「軽井沢ブランド」の確立と地産地消を目指しながら、地元の担い手育成にも取り組み、多様な事業に取り組む法人でした。



解消したほ場(右)と未だ残る遊休農地(左奥)

## 研修レポート



農業委員

田邊 重夫

中之口

このたびの農業委員会県外視察研修に参加させていただきました。総勢31人で、一日目の群馬県にある(株)あぐりーむ昭和は、農産物直売所をメインに農業体験やコンニャクづくり体験、足湯と、地元

にしつかりと融合した会社だと感じました。二日目、長野県軽井沢町の(株)グリーンフィールドは、平成16年にJ A佐久浅間が出資して設立された農業法人で、遊休農地の活用と畜産農家支援を目的に、高原野菜、信州和牛、高原豚、酒米等幅広く生産し、収穫されたばかりのレタスはとてもおいしそうでした。遊休農地から復田したほ場でも説明を受け、そこにホタルが生息している感動しましたが、回りを

見るとまだまだ遊休農地が数多く見受けられ、研修先でも条件不利地における遊休農地の進行、深刻な高齢化と後継者不足を心配しております。私たちの西蒲区においても、各地域に遊休農地が点在しており、現在27ヘクタールになっています。このような農業法人や担い手の掘り起こし、地主と受け手の中に立ち、少しでもお役に立てるよう頑張らねばと思いつながら研修地を後にしました。

## (株)あぐりーむ昭和

群馬県のほぼ中央に位置する昭和村は、赤城山の麓に広がる高原野菜地帯で、昭和ICにほど近い場所にある道の駅「あぐりーむ昭和」があります。

もともとは村営の直売所としてスタートしましたが、平成23年に道の駅に登録、道の駅として再開以降は来場者数も毎年増加してきました。

平成29年からは村が全額出資する(株)あぐりーむ昭和を設立、現在はその会社が指定管理者として直売所を含む道の駅の運営を行っています。

農産物直売所には地元産の野菜や加工品を中心に、県外産の旬の農産物なども並び、直売所がスーパーと競合していることをうかがわせました。また、体験農園や足湯施設の設置、毎月のイベント開催など、来場者数の増加のための対応が取られていました。



# 西蒲区農業委員会の農業委員・農地利用最適化推進委員の募集が始まります

## 農業委員

農地の許認可、農地利用の最適化の推進に係る業務を行う農業委員を募集します。

**募集人員** 19人以内

**対象** 農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に関する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方

**任期** 平成31年4月1日  
～平成34年3月31日

**報酬** 月額4万3千円以内

**応募方法** 団体や個人からの推薦又は自ら応募(所定の様式を提出。詳しくは募集要項をご覧ください。)

**募集期間**

平成30年10月1日(月)～10月31日(水)

**お問い合わせ**

新潟市農林水産部農林政策課

☎0255-2226-1764

## 農地利用最適化推進委員

担当地区において、農地利用の最適化の推進に係る業務を行う農地利用最適化推進委員を募集します。

**募集人員** 27人(担当区域ごとに募集します。区域の詳細は募集要項をご覧ください。)

**対象** 農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に関する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方

**任期** 委嘱の日(平成31年4月初旬)～平成34年3月31日

**報酬** 月額4万円以内

**応募方法** 団体や個人からの推薦又は自ら応募(所定の様式を提出。詳しくは募集要項をご覧ください。)

**募集期間**

平成30年10月1日(月)～10月31日(水)

**お問い合わせ**

新潟市西蒲区農業委員会事務局  
☎02567-28631

## その他

両委員の募集要項は、西蒲区農業委員会事務局、西蒲区産業観光課で配布します。また、10月1日以降、新潟市ホームページからもダウンロードできます。



## 農地パトロール第一弾～違反転用地を確認

農地を農地以外に利用するには「農地転用許可」が必要ですが、許可を得ずに農地以外に利用することは違反転用となります。このたび、農業委員と農地利用最適化推進委員が、地区ごとに管内の農地を巡回し、違反転用が疑われる農地の実態を調査しました。違反転用がある一方で、その解消に向けて復旧が進められている農地も確認できました。違反転用の解消に向け、今後も所有者の皆さまのご協力をお願いいたします。



## 女性委員が躍動～味噌づくり教室を開催

郷土に伝わる食文化を継承する食育活動の一環として、女性委員が地元産大豆を使った味噌づくり教室を開催しました。あらかじめ一晩水に浸けた大豆を煮て、ミートチョッパーでつぶした後、米麴、塩、水を混ぜて容器に密閉。冬には自分で作った味噌が完成します。参加者は5名でしたが「自分一人では自信がないので、来年もぜひ参加したい」と参加者からは好評でした。



委員のリレートーク



農業委員  
阿部 マサ子  
岩室

水と土の芸術祭「子どもプロジェクト」として、市内外の親子25人を受け入れ、味噌づくりと郷土食体験をしてもらいました。最初は麴づくり挑戦。蒸したコメに麴菌を混ぜて発酵機に入れ、味噌は煮た大豆をつぶし、麹、塩を混ぜ、参加者に持ち帰っ

てから仕込んでもらいました。郷土食では、きりあえとけんさ焼きの体験をしてもらいました。きりあえは大根の味噌漬けを細かく刻みますが、受講生の中には、保育園児やパパさんもおられたため、慣れない手つきで包丁を持ちながら頑張っていました。けんさ焼きは、小判型にしたおにぎりをホットプレートで焼き、両面にしょうが味噌を塗っておいしそうにほおばっていました。

参加者全員が、きりあえもけんさ焼きも初めての経験ということ、家でも作って食べさせますという声もありました。味噌を作りたくておばあさんと参加した男の子からは「来年もありますか？」と質問がありましたので、来年は農業委員会主催の味噌づくり教室に参加してもらう予定です。今年の味噌づくり教室には、のべ130人の参加があり、1・2トンの味噌を作り、持ち帰って仕込んでもらっています。味噌作りは、西蒲区のファンが大勢いられます。これからも郷土食、地産地消の大切さを発信し続けていきたいと思えます。

農業委員会の主な動き(3月~7月)

委員とは、農業委員及び農地利用最適化推進委員です。

3月 1日	新潟市農業委員会第3回研修会(委員22名)
6日	新潟県認定農業者経営改善研修会(委員1名)
9日	西蒲原土地改良区西地区委員会(会長)
12日	農政振興部会(委員23名) 農地部会(委員16名)
13日	食育実践活動(委員4名)
26日	3月調査委員会(委員6名)
28日	新潟県農業会議第123回通常総会(会長)
29日	3月定例総会(委員34名) 平成29年度定期総会(委員37名)
4月12日	全国情報会議(会長)
17日	自己保全管理水田復旧に向けた検討会(委員2名)
24日	4月調査委員会(委員6名)
27日	4月定例総会(委員19名)
5月18日	第1回代表者会議(委員11名) 西区・西蒲区飛砂対策協議会総会(委員2名)
22日	西蒲区農業再生協議会総会(会長)
23日	新潟地域農業振興協議会総会(会長)
25日	新潟市多面的機能推進協議会通常総会(会長)
26日	耕作放棄地解消プロジェクト播種作業(委員16名)
28日	西蒲区農業振興協議会総会(委員6名) 5月調査委員会(委員6名)
30日~31日	全国農業委員会会長大会(会長)
31日	5月定例総会(委員30名)
6月 6日	味噌づくり教室(委員4名)
20日~21日	農業委員会県外視察研修(委員29名)
22日	新潟県農業会議第124回通常総会(会長)
26日	6月調査委員会(委員6名)
29日	6月定例総会(委員29名)
7月 5日	新潟県農業会議業務推進検討会(会長)
11日	第2回代表者会議(委員11名)
13日	農地パトロール(岩室地区委員7名)
14日	農地パトロール(湯東地区委員8名、中之口地区委員7名)
15日	農地パトロール(西川地区委員8名)
17日~18日	市町村農業委員会会長会議(会長)
20日	新潟西部地区指導農業者会現地研修会(会長)
21日	農地パトロール(巻地区委員14名)
23日	農地部会(委員16名)
26日	7月調査委員会(委員6名)
30日	西蒲原土地改良区西地区委員会(会長)
31日	7月定例総会(委員33名) 西蒲区農業委員会全委員研修会(委員41名)

農地に関する各種申請の日程(9月~12月)

農地法関係			農業経営基盤強化促進法関係		
月	申請締切日	総会	月	申出締切日	公告日
9月	6日(木)	28日(金)	9月	25日(火)	11月14日(水)
10月	11日(木)	31日(水)	10月	25日(木)	12月14日(金)
11月	9日(金)	30日(金)	11月	22日(木)	2019年 1月17日(木)
12月	6日(木)	27日(木)	12月	21日(金)	2月15日(金)

全国農業新聞購読を!



週刊(金曜日発行)  
月 700円  
(消費税込)

全国農業新聞の購読トライアル実施中です。3か月間、無料でご自宅に郵送いたします。この機会にぜひご覧ください。お申込みは、西蒲区農業委員会事務局(☎0256-72-8631)へ